一般型

「コト」消費対応のための高速自動延反技術導入と独自SCMの確立

消費者意識の変化は製品需要に確実に影響を与えている。変化する需要に対応するためにはハード･ソフトの面で自社の生産システムを改善し、川上川下産業とも連携して対応しなくてはならない。

高速自動延反機

PURPOSE
事業目的

①過去の補助事業での商品の「質」向上から一歩踏み込んで、「コト」消費のコンセプトを加える、②在庫数増大による煩雑な在庫管理業務の軽減を図る、③新たにボトルネック工程となった延反工程において超高速コンベヤー延反機及びその制御システムを稼働させる事でボトルネックを解消し生産効率の向上を図ること。

MOTIVES
製品開発のきっかけ

家具･インテリア市場の雄である(株)ニトリがコストを削減し商品を大量に販売するコストリーダーシップ戦略により、同市場を席巻してきた。

一方、消費者にとって、2000年代以降、家具･インテリアは、住宅という空間を満たすための「備品」から、自分らしいライフスタイルの実現に向けて少しずつ買い足す「ライフスタイルを構成する要素」へと変化してきた。

自社の生産体制を整備した上で、そのような消費者のニーズの変化に応えることができれば、成長し続けられると考えたことがきっかけである。

TARGET
製品開発の目標

◆ロス率
3%→0.2%
◆生地切断
(1)枚数　100枚/日→300枚/日
(2)作業員数　2名→1名
◆不良品発生率
50件/年→0件/年
◆材料仕入高
△100千円

DETAIL & POINT
製品開発の内容

◆生地納入　生地の残りの長さを正確に記録することで、正確な在庫数を把握、生地供給会社と生地の在庫データを共有し、適時な発注を可能とした。
◆生地セット　ロールを1人の作業者でも簡単にセットできるようにした。
◆切り出し　CADデータを取込み、自動で高速に生地を切り重ねさせ、かつ傷のある個所を避けて正確に必要な生地を過不足なく切れるようにした。

中須工場

RESULT
本事業の成果

◆ボトルネック工程となっていた延反工程において、超高速コンベヤー延反機及びその制御システムを稼働させることで、生産能力の向上や作業負荷の改善を図り、ボトルネックを解消し生産効率の向上を実現した。
◆リアルタイムに在庫数と裁断に必要な割当数が把握でき、自社のシステムと組合せることで受注・発注業者とのデータ共有による在庫数の適切な管理が可能となったため、在庫数増大による煩雑な在庫管理業務の軽減を図れた。
◆過去の補助事業での商品の「質」向上から一歩踏み込んで、「コト」消費のコンセプトを加えることができた。

PROSPECT
今後の展望

地場産業を代表する企業となり、地方経済の牽引役となることを考えている。

補助事業後に目指すビジョンとしては、自社ブランドの立ち上げにつなげることである。他の家具製造業者とは共同で製品企画を行っており、ノウハウ・知識の蓄積による製品企画・開発力を向上させている。

また、製品コンセプトも「質」だけでなく、今回の補助事業により顧客のライフスタイルに応じた「コト」消費を提示できる下地を固めることで、将来像をより具体化していきたい。

KEY POINT
ココがポイント！

高速自動延反機と生地在庫管理システムの導入により、ライフスタイルに応じた「コト」消費への対応を実現。

在庫管理システム

システム化した裁断機

CORPORATE DATA
事業者概要

株式会社 ビクトリー

住所：広島県府中市僧殿町79
電話番号：0847-40-0318
URL：http://www.ko-victory.jp/

代表者名　小谷　幸三郎
設立　2006年8月1日
資本金　800万円
従業員　34人
事業内容　家具・装備品製造業

代表取締役
小谷　幸三郎

更なる成長へ向けて
このような企業からのご連絡お待ちしております

広島県府中・備後地区のものづくり技術により栄えた家具、木工業が衰退している現状、このままでは府中・備後地区のアイデンティティーはなくなるのではないかと考えている。そのためには今一度、自社の生産工程を改善し技術力を高め、より一層の製品の差別化を図り、府中・備後地区の文化を守らなければならないと考えている。

ご興味、ご賛同いただける方はご連絡ください。